



# 新たな栄光を刻むときが来た...!! 新生トミーカイラ始動

レガシイ、プリウス、R35...とコンプリートカーとパーツ単体販売で展開

その名前は若いOPT読者でも耳にしたことくらいはあるだろう。「トミーカイラ」。日本初のコンプリートカーメーカーとして87年に誕生し、数多くのオリジナルカーを生み出した名門だ。

しかし、その輝きはいつしか失われていく。決してコンプリートカーに魅

力がなかったワケではない。それは多くのファンが証明している。あえて理由を挙げるとするならば、経営戦略面に難があった...

そんな輝く未来を失いかけたトミーカイラの再生をめざし、新代表に就任した樋江井サンが、熟練のメカニックとともに再起をかけたのは今年6月のこと。

「かつてのトミーカイラは、まず「コンプリートありき」で、アフターマーケットに対する視野がせまかったんです。今後はパーツ単体での販売を行いつつ、コンプリートカーを手がけていこうと思っています」と樋江井サンは語る。

まず、旧体制時代のパーツをオンラインショップで販売開始。エアロもフロントだけといった単体購入を可能とした上、大幅な価格改定も図った。

そして、なによりも注目したいのが新製品の展開。工房にはエンジンが降ろされた新型レガシイ、そして内外装パーツが外されたR35GT-R(詳細は90ページで紹介)が鎮座していた。独創的で魅力あるクルマづくりを追求するという基本は変わらない。さまざまな車種へチャレンジし、新製品を続々と発表して多くのユーザーに新鮮で満足度の高いパーツを届けたい。これが新生トミーカイラのテーマなのだ。

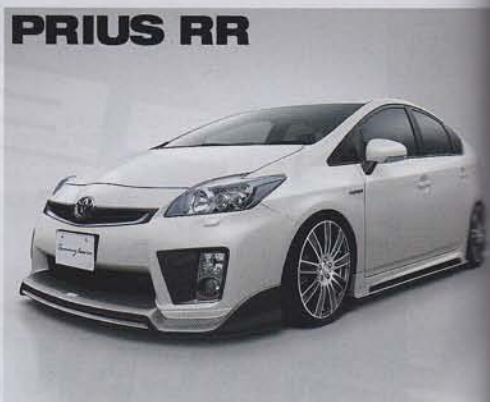


新型レガシイはB4、ツーリングワゴンともにEJ25ターボ搭載車をベースにしたコンプリートカー開発が進行中だ。エンジンは排気量アップのほか、純正改ハイフロータービン、ヘッドのファインチューン、ECU書き換えを予定。サスペンションキットや排気系パーツ、そしてバンパーとハーフを設定するエアロは単体販売も行われる。

「コンプリートカー販売だけではなく、パーツを単体販売することでお客様に愛車を発展させる楽しさも提供していきたいというのが、新生トミーカイラのコンセプトです。最新車種だけではなく、Z33やNSXといったモデルにも新たなアプローチをしていますよ」。



トミーカイラ  
樋江井サン



10月10日に発表された新生トミーカイラ第一弾はプリウス。エアロはウエットカーボン製とFRP製を設定するほか、純正塗装済みも販売する。また、2本出しと4本出しをラインアップするマフラーや車高調など、多彩な商品をそろえ「レーシング スタイル リアリティ」の略称である「RR」にふさわしい、ハイブリッドカーチューンを展開。インサイトやCR-Zも手がけていくという。



フロントバンパーは中央の開  
口部のほか左右に2段ダクト  
を設定し、ロワダクトはフォグ  
ランプを追加することも可能  
だ。また、リップスポイラーは  
純正バンパーにも装着できる  
構造にしようという案もあっ  
たが、デザインを妥協すること  
はできず、トミーカイラバン  
パー専用設計となった。左右の  
張り出しに対してセンターを  
巻きこませることで、フロア下  
への整流を考慮している。

リヤアンダースポイラーは  
アンダーディフューザーとの  
2ピース構造。ディフュー  
ザー性能を発揮させるため  
に純正比で後方へ80mm  
の延長がほどこされており、  
また、センター部も熱対策  
のためダクト化されるとい  
う。なお、写真のウイング  
はハイマウントランプレス  
仕様で、製品ではフラップ  
部にドライカーボンを採用  
する予定だ。



## エアロチューン

from **TOMMYKAIRA**

トミーカイラジャパン 愛知県豊田市堤本町山畑7 ☎0565-52-8555  
http://www.tommykaira.com

# 華麗さと攻撃性をあわせもつ ボディキットとともに 東京オートサロンで R35コンプリートカーを発表

デモカーは内装パーツの大半が取りはずされており、シート表皮やドアパ  
ネルをレーザーで張り替えるほか、パネル類はドライカーボン化されるとい  
う。これは、東京オートサロン発表にむけたショーカーとしての仕様となる  
が、コンプリートカーでも対応できるように準備が進められている。



「チューニングとい  
うぶんでは、先  
陣を切って進めら  
れてきたチューナー  
さんがたくさんい  
らっしゃいますし、いま  
からそのレベルに追い  
つづくのもむずかしい。  
そこで、まだ数がすく  
なくオーナーの期待も  
高いボディキットの製作  
に注力しようと考えたん  
です」と代表の樋井井サ  
ンは語る。

ボディキッ  
トはマスター  
モデルがすで  
に完成。現在  
は型の製作  
が行われてお  
り、車両では  
車高調とマフ  
ラーの製作が  
進められてい  
る状態だ。  
フロントは  
イメージの刷  
新を図るた  
めにバンパー

「チューニングとい  
うぶんでは、先  
陣を切って進めら  
れてきたチューナー  
さんがたくさんい  
らっしゃいますし、いま  
からそのレベルに追い  
つづくのもむずかしい。  
そこで、まだ数がすく  
なくオーナーの期待も  
高いボディキットの製作  
に注力しようと考えたん  
です」と代表の樋井井サ  
ンは語る。



このCGをもとに、エアロキットはクレイ削  
り出して製作が進められている。パーツ構  
成を多く設定することで、じょじょに進化さ  
せていく楽しみをあたえたい...という思い  
がこめられており、リヤウイングやトランク  
スポイラーは2バージョンが用意される。



完成間近のボディキットは  
単体での購入も可能  
今月号の「おぶにゅ〜」(19  
ページ)でも紹介しているとお  
り、トミーカイラがR35のコン  
プリートチューンに着手し  
ている。その方向性も決  
まっており、コンプリート  
カーではエンジンには  
手を入れず、内外装  
のほか排気系と足  
まわりのみを変更  
するという。



トミーカイラ  
松本サン

マフラーは  
ステンレスとチタンの  
ふたつの素材で  
製作中です。